

佐賀大学・小城市交流事業特別展プレイバック企画

特別展

幕末維新期の小城

—書聖・中林梧竹の生きた時代—

小城出身の書家で、明治の書聖といわれる中林梧竹は、小城藩士・中林彦四郎(四郎兵衛)隆経として、幕末の激動の時代を生きました。

本展示では、佐賀大学附属図書館所蔵『小城鍋島文庫』の史料から、幕末の小城藩の様子や梧竹の足跡について紹介します。

(展示史料) 小城藩日記など計9点 ほか展示パネル、史料写真

平成28年

7月15日(金)～8月10日(水) **入場無料**

第一会場 佐賀大学美術館 2階小展示室 開場時間：10時～17時 **休館日：月曜日**

第二会場 佐賀大学菊桶シュライパー館 1階展示室

開場時間：10時～17時(12時～13時は一時休室) **休館日：日曜日**

※第一会場と第二会場で休館日が異なります。ご注意ください。



問い合わせ先：佐賀大学地域学歴史文化研究センター

背景史料：戊辰戦争戦況図(小城鍋島文庫)

TEL 0952-28-8378 (FAX 共)

展示史料

〔第一会場〕

「増刊校正王状元集註分類」(中林梧竹の書き込みがある書物)

「中林梧竹書簡」(小城藩役人・中林四郎兵衛としての活動)

「地券」(小城藩士の家に生まれ、維新後は地域の役職を歴任した持永秀貫の署名)

「戊辰戦争戦況図」(小城藩が出兵した秋田藩領域の地図)

ほか史料写真 10 枚、パネル 6 枚

〔第二会場〕

「達」(小城藩主鍋島直堯が嘉永 3 年隠居する際に重臣へあてた達、次の藩主への忠誠など)

「徳川家茂御内書」(小城藩主鍋島家と將軍家のつながりを示す御内書)

「老中奉書」(小城藩に対し、その他の「公務」を免除する代わりに、長崎警備を厳重に命じる)

「小城藩日記 元治元年」(元治元年小城藩でおきた内紛「太田蔵人襲撃事件」に関する記述)

「草場佩川書」(佩川は多久出身で佐賀藩主鍋島直正のブレーン。梧竹とも親交があった)

ほかパネル 1 枚

※第二会場の菊楠シュライバー館は、美術館から南へ向かい、つきあたりにある木造二階建ての施設です。



菊楠シュライバー館 (地域学歴史文化研究センター) ※会期中日曜閉館

背景史料: 「達」(小城鍋島文庫)